

小杉山 円満寺 令和四年初縁日号

# 寺だより

新庄市五日町五九一四

TEL 二二・〇四三三三 Fax 二二・〇一六六

発行者 山尾瑛紀

寒中お見舞い申し上げます

雪かきに追われる毎日です

が、皆さまお元気で過ごすごしのことと思えます。

暗くなるのが少し遅くなって、日が長くなってきたように感じます。春が待ち遠しいです。

今回の寺だよりは、歓喜天初縁日について載せています。初縁日が終わると、雪が収まり、

いよいよ春が近づいてきます。



## 歓喜天の

### 初縁日

歓喜天さまの縁日は毎月十七日です。

円満寺の初縁日の大護摩供養は、一月でなく、二月に執り行いま



す。一月は、寒修行があるためです。初縁日の護摩供養は、二月第三日曜日に執り行います。夜はお柴燈を行います。

### 初縁日のお供え物と浴油供養

#### ・お供え物

せいじょうかんきだん

「清浄歓喜団」、穀類（大豆、あずき、麦、米）と木の実（くるみ、カヤの実） 甘く炊いたあずき、上生菓子、大根です。

歓喜天さまは甘いものが大好きですので、小豆煮には砂糖をたっぷりと入れます。

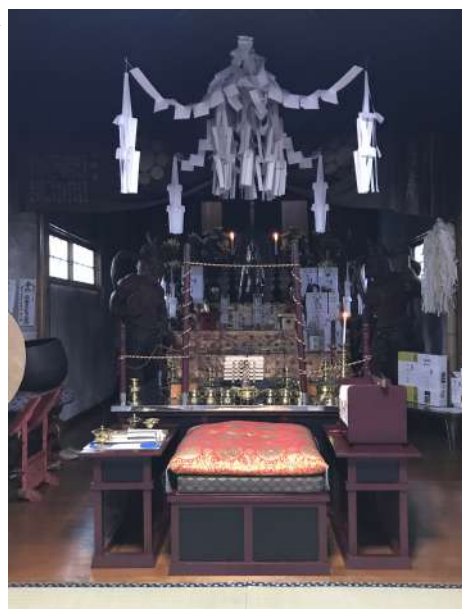
#### ・浴油供養

歓喜天さまを供養するうえで、最も神秘的な法とされていて、初縁日に行います。奥の院の厨子におさめられている歓喜天本尊に、ごま油を濯ぎ、清めるのです。

この供養により歓喜天さまの力が一層高められ、私たちの願いを成就させてくれます。この作法は、住職だけが行うことができます。

#### 梵天護摩供

円満寺では、梵天護摩を厳修しています。梵天とは、護摩壇の上に吊るされた御幣を言います。神の抛り代となるところです。一枚の大きな紙でできています。四隅には、別紙で作られた御幣が下げられています。護摩の火が上がると、梵天が大きく揺ら



ぎます。護摩の火には、神への供物である、香・穀物・ごま油などが投じられます。

#### 清浄歓喜団とは

歓喜天さまへの供物で、奈良時代に唐から仏教とともに伝えられた揚げ菓子です。

形は八葉の蓮華を表しています。

皮は、小麦粉と米粉を混ぜたものに、七種の香（丁子、白檀、桂皮など）を配合しています。中は小豆餡です。ごま油で揚げます。



供物ですので、作るときは、身を清めてから取りかかります。

#### 歓喜天と十一面観音菩薩



歓喜天堂奥の院に上る階段の前に、歓喜天さまの前仏として十一面観音菩薩が立っております。

暴れん坊であった歓喜天が十一面観音菩薩と会って改心し、善神となって衆生の悩みやくるしみを救済し、願いを成就させてくれるようになりました。

歓喜天と十一面観音菩薩は対となる神仏です。

## 開山四〇〇年

当山は、一六二四年（寛永元年）、初代藩主戸沢政盛公の叔父甚盛上人によって開山されました。

以来法灯四百年。

二〇二四年（令和六年）に、開山四百年という節目を迎えます。

それに当たり、お祝いの記念行事を行いたいと考えております。



・お祝い法要

・稚児行列

・修復の終えた本尊不動明王の開眼供養

・雷神様の開眼供養

などを考えておりますが、壇信徒のみならずままと相談しながら決めていきたいと思っております。どうぞご意見をお聞かせください。また、その節は、お力添えをお願いいたします。

### 今日の法語

## 「三密」さんみつ

新型コロナウイルス感染症拡大防止の標語でお馴染みの「3密」という言葉があります。

一方、真言宗では「三密」というと、仏さまと一体となるための三つの作法の名前として昔から使われています。

まずは合掌。右手は仏さま、左手は自分です。これにより仏さまと身体が一体となります。（身密）

次に真言。これは「真の言葉」で仏さまに話しかけます。ここでは仏さまと言葉が一体になります。（口密）

そして心穏やかに仏さまを想うこと。これで仏さまと心が一体となります。（意密）

祈る形（身密）・祈る言葉（口密）・祈る心（意密）の三つ、仏さまの三密と自らの三つの作法を一体にすることが、真言宗で

は最も大切とされます。

歓喜天にお参りの際は、二度手をたたき、手を合わせ（身密）、「南無大聖歓喜天・なむだいしよう かんきてん」と唱え（口密）、心穏やかに歓喜天様を想って（意密）、お祈りしてください。

### おすすめ

## のぼり旗を

### 奉納してみませんか

お願い事を込めたのぼり旗を奉納し、一層のご加護を受けてみませんか。

のぼり旗は「大聖歓喜天」のほかに、「南無大師遍照金剛」「南無虚空蔵菩薩」「子育て地藏尊」「稲荷大明神」があります。



ご奉納いただいたのぼり旗に、「願い事」「名前」を書いて、護摩祈祷の後、境内に掲げます。

△掲げる期間▽ 奉納日よりおよそ一年間

△奉納料▽ 一本 二五〇〇円

△申し込み受付▽ 随時受け付けております。